

フェムテック等サポートサービス実証事業

周産期遠隔医療プラットフォームを活用した
仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業
中間報告（2021年11月）

Melody 

メロディ・インターナショナル株式会社

© Melody International Ltd. 2021

実証事業の対象、目的



コロナ対策



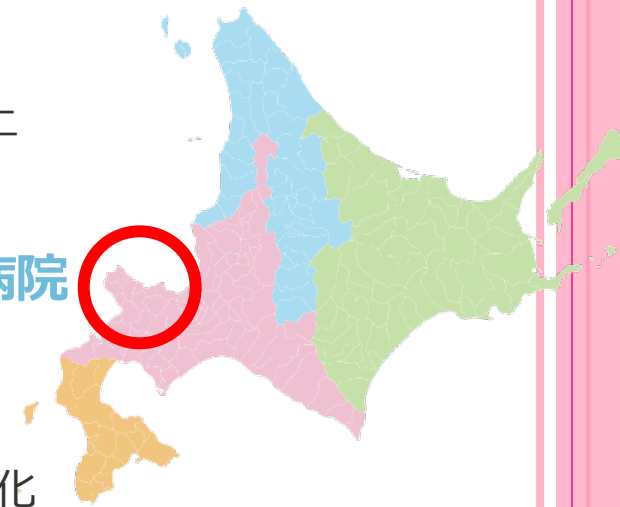
対象者：余市町（北後志）の妊婦とパートナー

- ・ 通院負担／コストの軽減
- ・ 子育てとの両立負担の軽減
- ・ 家族やパートナーの理解度の向上
- ・ リスクへの不安の低減



サービス提供者：小樽協会病院

- ・ 出張負担の軽減
- ・ 切迫入院中の試験外泊サポート
- ・ 緊急搬送受入の円滑化
- ・ 地域連携体制、チーム医療の強化



周産期遠隔医療
プラットフォーム

Melody



サービス媒介者：余市町、消防組合

- ・ 各種手続きをスムーズに
- ・ 産科施設不足を解消
- ・ 地域の出産環境の整備
- ・ 救急救命率の向上、リスク低減

その他：企業や団体

- ・ 休暇取得、福利厚生之最適化
- ・ 妊婦が働く環境や職場理解の促進



実証のポイント



日本発のIoT型胎児モニターによる遠隔妊婦健診サポート

メロディ

自治体と地域医療機関との連携事業

北海道
余市町

小樽協会
病院

余市町での出張妊婦健診
在宅での胎児モニタリング
消防組合でのトレーニング



「胎児の状態を知る」を
いつでも、どこでも可能にする

①当初の事業計画



大項目	中項目	分類	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
周知活動	HPの制作	広報	→										
	チラシの制作・配布	広報	→										
	ビデオの制作	広報	→										
	妊婦・家族向け説明会	広報	→										
会議・ミーティング	全体会議（参加団体）	運営	○			○					○		
	ジョブ会議（部分）	運営		○	○		○	○	○				
	情報共有	運営	→										
周産期遠隔医療プラットフォームサービスの準備	オンライン病院への依頼	実証準備	→										
	実証サービスINへの準備	実証準備	→										
	ICTGレンタルの開始準備	実証準備	→										
	役場・病院の窓口設置	実証準備	→										
	出張健診運用準備	実証準備	→										
	健診履歴システムの構築	実証準備	→										
	個人情報窓口の設置	実証準備	→										
周産期遠隔医療プラットフォームサービスの活用実証	余市協会病院での利用	フィールド実証	→										
	在宅利用	フィールド実証	→										
	支援病院	フィールド実証	→										
	オンライン判読・受診勧奨	フィールド実証	→										
	サポートセンター	フィールド実証	→										
学会・勉強会	消防署へのセミナー	フィールド実証		○	○				○	○			
	学会参加	フィールド実証	○			○	→						
効果測定	利用者アンケート・ヒアリング	KPI分析					→						
	提供者アンケート・ヒアリング	KPI分析					→						
	実施と集計・分析	KPI分析						→					
	定性的、定量的効果測定結果	KPI分析						→					
報告書作成	中間報告	報告まとめ			→								
	最終報告	報告まとめ							→				

実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

チラシの作成



令和3年11月1日～令和4年2月18日

周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業

ICTで妊婦さんをサポート！

妊婦と家族の不安解消、パートナーや職場の意識変容と理解を推進することで女性のキャリア形成と安心安全な妊娠・出産の両立を目指します。

＊モバイル型胎児モニター
(分娩監視装置ICG)



分娩監視装置とは…胎児心拍や母体陣痛を計測して現実の子供を把握する医療機器です。

NSTとは…non stress test (ノンストレステスト) の場で、分娩監視装置を用いて胎児心拍や子宮の収縮を確認します。



期間 令和3年11月1日～令和4年2月18日

対象者 余市町内にお住まいで、小樽協会病院またはおたるレディースクリニックを主治医とし、主治医が適当と判断する妊娠24週から35週の妊婦さんを対象としています。

実施内容

妊婦さん(上記対象者)が以下①、②の健診で、モバイル型胎児モニター²を装着して計測した胎児心拍や子宮の収縮状況のデータを、主治医(小樽協会病院またはおたるレディースクリニック)に送信して確認してもらうことができます。

①出張健診
余市協会病院での助産師出張健診時(2週間に1回、水曜日の午前中)に実施しています。
※2回に1回はかならず小樽協会病院、またはおたるレディースクリニックで対面健診を実施。
★小樽協会病院かかりつけの妊婦さんだけでなく、新たに おたるレディースクリニックの妊婦さんもサービスをご利用いただけるようになりました。



②在宅健診
リスク妊娠等で頻回の通院が必要な妊婦さんに対して、モバイル型胎児モニターを貸出します。自宅で計測したデータをもとに来院する必要性を評価することで、通院の負担を軽減できます。
★主治医が判断いたしますので、ご相談ください。

救急車等での母胎搬送中に胎児心拍や母胎陣痛をモバイル型胎児モニターで計測し、搬送先医療機関にリアルタイムでデータの共有等を行うことで、より安心安全な出産をサポートするための勉強会や訓練等を本事業で実証的に取り組んでいきます。

令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に基づき、代表団体「メロディ・インターナショナル(株)」、参加団体「社会福祉法人 北海道社会事業協会小樽病院」、「余市町」の協力に基づいた事業です。
経済産業省 URL:<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/koba/2021/k210205005.html>

詳しくはかかりつけ医(小樽協会病院・おたるレディースクリニック)、または余市町民生部子育て・健康推進課にお問い合わせください。

メロディ・インターナショナル(株) 〒761-0301 香川県高松市林町2217-44 ネクスト香川304 TEL:087-813-7362 HP: https://melody.international	社会福祉法人北海道社会事業協会 小樽病院 〒047-8510 北海道小樽市住ノ江1丁目6-15 代表電話 0134-23-6234	余市町民生部 子育て・健康推進課 〒046-8546 北海道余市郡余市町朝日町26番地 TEL:0135-21-2122
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------



実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

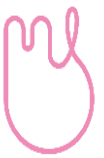
アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

余市町・小樽協会病院と調整



実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

フェムテックデバイスの導入説明



実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

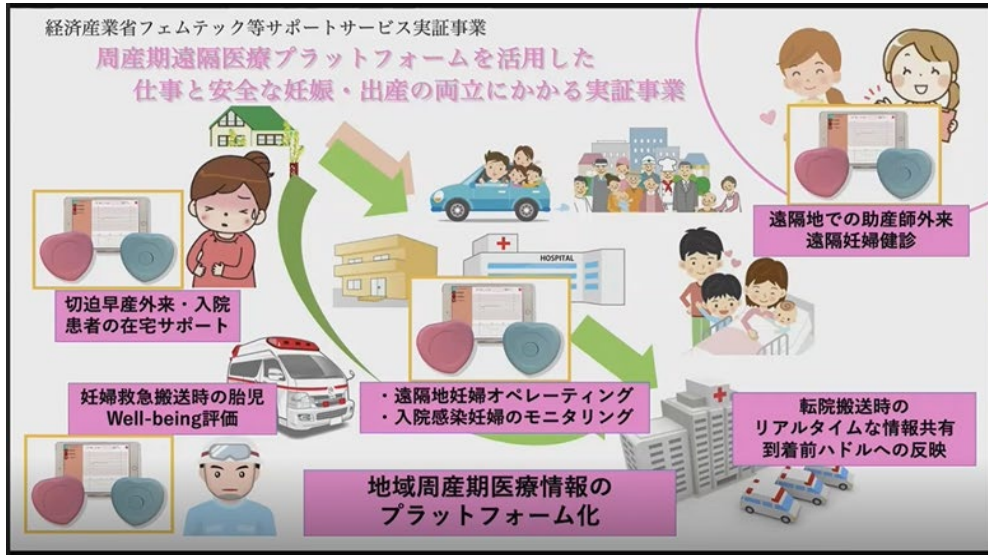
フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

日本遠隔医療学会学術大会にて発表



左：アプリを起動させたiPad右：URL入力したPC画面

助産師外来で計測された胎児心拍陣痛波形は当院の端末で良好に再現された

助産師外来での 遠隔妊婦健診

- 検査者
 当院での外来に従事し業務内容を習得している
 アドバンス助産師 CLoCMIP (助産実践能力習熟段階) レベルIII
- 検査項目
 血圧測定、体重測定、尿検査、下腿浮腫の確認、
 胎児超音波断層法検査、
 iCTG®を用いた胎児心拍陣痛図計測

第25回日本遠隔医療学会学術大会

地域と救急を支える遠隔医療

2021.10/9 Sat.-10 Sun

じゅうろくプラザ (JR岐阜駅前)
 岐阜大学サテライトキャンパス

大会長	森田 浩之	岐阜大学 総合診療科・総合内科学
副大会長	矢部 大介	岐阜大学 産婦科・分娩学・産科救急学 (産科救急・産科救急学)
実行委員長	中島 英太郎	中部大学 産科救急学 (産科救急・産科救急学)
プログラム委員長	森 一郎	岐阜大学 産科救急学 (産科救急・産科救急学)



実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明


学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

サーベイ計画



『周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業』に付帯する調査についてのメモ  RB-R&Co.

We support your business like a 樹立

1. 妊娠・出産の環境に関する調査概要

調査目的：余市町・北後志地域における妊娠・出産環境に対する現状と問題点の把握

調査対象：余市町・北後志地域在住の下記世代グループ

16～45 歳女性（プレ結婚・妊娠世代～子育て世代） / 約 2,500 サンプル

上記両親世代 / 約 5,000 サンプル

調査方法：市報同梱による留置調査（郵送による返送）

Web 調査（Google フォーム利用）

←設問は共通

調査項目：妊娠・出産を取り巻く各環境要因に対する評価

1. 医療機関に関する評価
 2. 職場環境に関する評価
 3. 地域コミュニティに関する評価
 4. 行政機関に関する評価
 5. 育児環境に関する評価
 6. 家庭環境に関する評価
 7. 地域における妊娠・出産環境に関する総合満足度
 8. 自由回答
- F. 属性質問

分析方法：各環境に関する評価を数値化し、総合満足度への寄与度を視覚化する。

また、属性別に寄与度を求めることによって、現状の課題点を抽出する。

告知方法：市報へのチラシ折込

各種公共機関や商業施設などでのチラシ・ポスター掲示

SNS でのターゲット広告（Facebook・LINE など）←Facebook 広告 500 円 / 日～ LINE 広告 1,000 円～

Web 調査はチラシ・ポスター・SNS 広告に QR コードを掲載し、リンク先へ誘導



実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

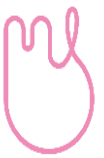
勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

事業を実施して分かってきたことや課題



- 妊婦さんはフェムテックデバイス（iCTG）はすぐに習得出来る
 - スマホは慣れているので、使い方説明ビデオなどがあれば容易
- 医療機器の自治体窓口での受け渡しは業務上困難
 - 医療機関の積極的協力が必要となる
- 対象妊婦をどこまで広げることが出来るか／絞り込むか
 - 不必要な妊婦まで広げることで、医師によるカバーが困難になる
- 2週間毎の「妊婦健診回数を減らせる」という誤解
 - やはり、安全な医療を担保する必要がある
 - より頻回の健診が必要な妊婦の来院回数を増やさない方法
- 地域の消防組合のモチベーションは高い
 - とりわけ新生児蘇生に関する資格取得と連携することで、iCTGを使った搬送中の胎児モニタリングに興味を持ってもらっている
- 北後志（しりべし）から小樽への救急搬送ルート
 - 余市消防署を通らないルートの場合？
 - 余市消防署へ一端寄ることが可能かどうか？
 - 余市→小樽の30分間でも胎児モニターがあった方がより良い場合の絞り込み
 - 札幌まで搬送する場合小樽で医師がiCTGと一緒に乗り込む方法

今後の予定



- 在宅健診対象妊婦のリクルート
 - 在宅でのオンライン妊婦健診の実証
- 余市協会病院での出張妊婦健診
 - 2回に1回を地元で受診できる仕組み
- 消防署、助産師向けの講習
 - 座学と分娩ファントム、iCTGを用いた周産期救急講習会
 - 11月、12月、1月、2月に各月2回ずつ、北後志救急をはじめ小樽救急、おたるLC助産師を対象に、当院または主要消防署でコースを開催
- サービスに関するサーベイ
 - 妊婦さんと、医療従事者へのヒアリングとアンケート
 - 余市町住民（妊婦と家族）へのアンケート調査（Web調査）
- 余市モデルを他の地域へパッケージ化する為の検討
- 報告書作成

to be continued...

